

あだたら

二月二十六日(日)

発行所 新井市山部
編集 松本あきた
発行 山部町会

●編集部連絡先
二本松市茶園1-1633
0243(23)4425
佐藤 延子

二月山行水石山・関伽井嶽、 附良々堂山

報告 菅野善雄



水石山山頂、「水石」にて

水石山 七三五級、二等三角点。二月の会山行は二十六日、参加者用事が出来三名だけになった。市役所八時集合・出発。地方道から国道三四九・四九を經由三和インター入口近くから県道一三三に入り 関伽井

が山頂まで続く。山頂は広大な草原で、三角点の近くには展望台もあり、三六〇度のパノラマを楽しむ事が出来る。山頂には十時四十五分。展望を楽しみ、水石山の謂われの石があると言うので、探すことにした。半分諦めていた所、見つける事が出来た。大石の上に凹みがあり、そこに年中水がある事から「水石山」となったそうです。日溜りで昼食後下山、駐車場所午後一時着。これから関伽井嶽(六〇五級)を目指す。針葉樹林の歩き易い登山道。山頂からは東の方に木々の間から太平洋を望む事が出来る、ここまで約二十分、記念写真を撮り、駐車場所まで戻る。午後二時前に出発、差塩(さいそ)湿原、時季外れだが廻ってみることにする。差塩湿原は昭和六十一年にいわき市の天然記念物に指定されたようだ。湿原から約三キロ離れたところに、良々堂山(ややどうさん)六一八級があり、良々堂の下には桃太郎石があり、また良々堂山には巨石の下や上に観音様が祀られている。一周約二キロ、一番札所から廻る

事にする。山頂近くは巨石が多く札所が集中している。踏み跡が多く、下山道を見付けるのが大変、山を登り、沢を下りと、トラバースするように下る。良々堂の屋根が見えたときは安心した。既に四時過ぎである。堂の後ろの大岩の上に



良々堂山(ややどうさん) 山頂



関伽井嶽山頂

二月五日、山の会の会員三名(菅野英、西東、竹部)と福島の中登会の会員の方二名計五名で蔵王熊野岳の冬山トレッキングと蔵王スキー場でのスキーと盛りだくさんなツアーに行きました。福島市役所朝六時に管野リーダーの車で出発し、一路東北道で蔵王ロープウェイ乗り場駐車場へ。八時十五分始発の便で乗り継いでいざ山頂へ。山頂駅を九時頃出発し、地蔵山を経由し熊野岳に十時半に到着。樹氷はスノーモンスターまではいかなくても、それなりの形になっていました。時間が早いので、昼食は降りてから取ることにしてそのまま下山。ロープウェイ山麓駅にある無料休憩所



蔵王山頂稜線

二月五日(日) 個人山行・蔵王

報告 西東寛樹

所で昼食をとり、一時半から今度はスキーを楽しみました。男性二人は果敢に蔵王名物、横倉のカベに挑みましたが、私はあえなく撃沈。派手に転んでしまいましたが、そうこうしているうちに四時になり、リーダーがどうしてもスキーが食べたいということで、みんなレストランでソフトクリームやケーキなど食べようとした所、店のおばさんから玉こんにゃくを差し入れて頂きました。蔵王セクターパーラザの温泉につかり、国見サービシアで夕食を取り、福島市役所へは八時過ぎに到着。一日で冬山トレッキングとスキー両方をするという欲張りなツアーでした。

三月五日(日) 三月山行・丹波楯山

報告 編集部



お城山から丹波楯山、下は三中

霞ヶ城公園から 時々綺麗な形の山が見えます。空気が澄んで 遠くまで良く

見える時に限って、南の方
向、中通り平原のずつと奥
に、三つの峰が寄り添って
お伽話にでも出てくるよう
な形の山が見えます。これ
が白河市・天栄村堺の丹波
楯山です。夕日を浴びると
赤い波に見えるところから
丹(に・赤い色)波と呼ば
れたと言います。また「三ツ盛
山」とも呼ばれていると言
います。信仰の対象で山頂
には「山神社」が祀られ、
山城としても利用され、干
魃の時には蓑笠で登山し雨

乞いも行われました(てん
えい道はたの文化財・天栄
村教育委員会編)。
五日は午前八時市役所集
合、登山口は 天栄村、国
道二九四号・道の駅「季の
里天栄」の近く、二本松か
ら一時間半弱、国道を更に
南下すると、右側に「丹波
楯山登山口」の天栄村が立
てた看板が現れます。右折
して五百メートル程で右側
に沢が現れます。五日には
登山道途中の溜池が除染中
で、土木機械があつたり道
に鋼板が敷いてあつたりし
ましたが、おそらく登山口
入口の看板もあつた筈で
す。工事後には入口看板は
戻されることでしょうか。二
百メートル程で溜池。除染
作業中。杉林の中を少し歩
いて、水場 沢を渡ると
階段の急登、登り切ると後
は尾根道、途中にはリスの
食痕「エビフライ」が散乱、
リスが居ると言う事。日当
たりの良い気持ちの良い尾
根道を登ること。登山口か
ら四十五分強で刈払われた
山頂に到着。人工的な土の
高まりが二つ、古墳のよう
にも見えましたが、経塚だ
と言います。北側は開けて
いて見晴らしが良く、双眼
鏡では郡山駅前の「ビッグ
アイ」が確認できました。
山頂の山神社は屋根の下ま
で土に埋もれていました。
二本松から撮影した丹波楯
山の望遠写真と同行の高橋
さんから頂いた「はるか」

菊の里 青空教室

報告 編集部

今シーズンの社会福祉法
人あおぞら育成会菊の里
のそり滑り「あおぞら教室
は一回目が一月二十三日
(月)、二回目が二月二十
一日(火)に開催されまし
た。
一回目には、就業グルー
プ生活グループが一緒に、
二回目は生活グループだけ
が参加しました。皆さんそ



1月 集合写真



2月、御礼を 頂きました

蜜柑をお供えして、お参り
できた御礼を致しました。
記念撮影して山頂発は十時
五十分、再び道の駅。ここ
から「天栄村ふるさと伝承
館」へ。入館無料、縄文時
代からの遺物や江戸時代の
農機具等の展示を見て、龍
ヶ塚古墳の場所など聞いて、
時間も来たことので、こ
この駐車場で昼食、他に客
も居ないし、丹波楯山も見
えるし、風もなく暖かいし
で ゆっくり出来ました。

個人山行 鹿狼山・信夫山

報告 菅野善雄

二月四日、二本松八時出
発、国道一一五号、相馬市
より国道二二八号、地方道
国道一一三号より登山口駐
車場へ。途中紅梅も咲き始
め、駐車場の梅も蕾が膨ら
み始め、先が白く見える。
二箇所ある駐車場満杯、空
きスペースをやっと探し駐
車する。今回は周回コース、
左回りの登山道。石の階段
を上り東屋下で遊歩道と合
流、雪も少し有り、足元に
気を付け、下山する人が多
い。途中から送電線の鉄塔
管理道に入りトラバースす
る様に尾根に出て、山頂へ
行く。
山頂からは南蔵王・白石
スキー場・青麻山や阿武隈
川などの眺望を楽しみ、東
の方には二〇〇度の大パノラ
マ、震災前は海と陸が松林
ではっきり分けられていた
が、あの大波で松林が無く
なり、海と陸の堺が判らな
い。海から大きな砂浜に見
える。山頂は風もなくゴザ
でも敷いて大の字になり
昼寝でもしたい位。帰路は
海を見ようと相馬港に廻
る。二年前は瓦礫があり流
された家の土台のコンクリ
ートが出ていたが、今は瓦
礫も少なくなり道路もほぼ
復興しつつある。百尺観音
様に廻り、南相馬・鹿島町
から八木沢峠、飯館村を通
り、無事帰松する。飯館村
では交通量の多い道路の脇
の田を、猪が二頭我が物顔
で歩いているのも見る事が
出来た。
歳を重ねると足が衰えて
来る。私も例外でなかった。
信夫三山の羽黒山の大ワラ
ジに折願すると良いと聞い
た事が有り、二月十三日に
妻と行く。月山・湯殿山を
参拝、鳥ヶ崎で白兔の吾妻
小富士など眺望を楽しみ、
薬師・猫福荷を廻り羽黒山
へ。二月十日に奉納された
大ワラジに折願をして来ま
した。御利益があり今年一
年頑張る事が出来れば良い
なーと思ってる。



鹿狼山



信夫山